

令和2年度

冬休み！ 親子県議会教室開催結果報告書



- 1 開催日時 令和2年12月26日（土）13：00～16：00
- 2 開催場所 岩手県議会議事堂（盛岡市内丸10-1）
- 3 参加者 66名：児童34名、保護者32名（親子32組）
- 4 出席議員 12名
関根敏伸議長、中平均副議長、川村伸浩広聴広報会議座長、
佐藤ケイ子広聴広報会議副座長、千葉秀幸議員（広聴広報会議構成員）、
佐々木宣和議員（広聴広報会議構成員）、吉田敬子議員（広聴広報会議構成員）、
千葉絢子議員（広聴広報会議構成員）、
（オブザーバー）小西和子議員、臼澤勉議員、武田哲議員、米内紘正議員
- 5 プログラム 開校式（議場）
・参加議員紹介
・参加児童紹介
県議会ってなんだろう ～県議会の役割や県議会議員の仕事について～（議場）
県議会クイズ（議場）
議事堂探検（議場、特別委員会室、議長室、副議長室）
議員との名刺交換（議事堂2階ロビー）
議員とのふれあいトーク（第1～4委員会室）
閉校式（議場）
・児童感想発表
・副議長講評
・議員カード兼親子県議会教室修了証の交付
・記念撮影
- 6 開催概要 12月26日（土）に県内の小学校、義務教育学校に通う5年生、6年生を対象とした親子県議会教室を開催しました。
当日は、32組66名の親子に参加いただきました。議場において、関根敏伸議長のあいさつ、参加議員及び参加児童の自己紹介の後、千葉秀幸議員の説明による「みなさんと県議会のつながり」や「岩手県議会広報動画の視聴」、佐々木宣和議員の出題による「県議会クイズ」などを通じて県議会の役割や県議会議員の仕事などを学びました。
その後、参加親子が6チームに分かれて、参加議員の案内による議事堂探検や参加議員との名刺交換、4委員会室に分かれての議員とのふれあいトークを通じて、議会がどのようなところでどのように行われているかを体験しました。
閉校式では、4委員会室の代表児童から本教室に参加した感想の発表があり、中平均副議長からの講評の後、関根敏伸議長から参加児童一人一人に議員カード兼親子県議会教室修了証を交付しました。

■ 開校式

関根敏伸議長からの歓迎のあいさつの後、参加議員及び参加児童が自己紹介を行いました。参加児童は、県議会の例に倣い、議長から名前を呼ばれた後に、挙手の上、「議長」と発言して自己紹介を行いました。



■ 県議会ってなんだろう ～県議会の役割や県議会議員の仕事について～

県議会広報動画「わたしたちの岩手県議会」から「県議会の役割編」を視聴しました。

その後、千葉秀幸議員が「みなさんと県議会のつながり」と題して、スライドを使い県の仕事の中で、参加児童に身近な事業などを紹介しながら、県が一年間に使えるお金（予算）が成立するまでの議会の審議過程などを説明しました。

動画の視聴やスライド説明の間、参加児童が一生懸命メモをとる様子が印象的でした。



■ 県議会クイズ

参加児童が、佐々木宣和議員の出題による「岩手県議会の議長は1名、副議長が2人である。」や「岩手県議会議員の定数は48人である。」など県議会に関連するクイズ8問に挑戦しました。

千葉秀幸議員の説明内容からの出題もあり、多くの参加児童が高い正解率（全問正解者が7名）となり、ここでも参加児童が一生懸命に学んでいることが伝わりました。



■ 議事堂探検

参加児童が、そばっちチーム（担当：川村伸浩座長）、こくっちチーム（担当：佐藤ケイ子副座長）、とふっちチーム（担当：千葉秀幸議員）、おもっちチーム（担当：佐々木宣和議員）、うにっちチーム（担当：吉田敬子議員）、アマビエチーム（担当：千葉絢子議員）の5つのチームに分かれ議事堂を探検しました。

担当議員の案内で議場、特別委員会室、議長室、副議長室を探検し、議長席や知事席、執行部席に座ったり、演壇に登壇するなどしました。また、議長室では、関根敏伸議長との名刺交換を行ったり、副議長室では、意外な場所につながっていることを中平均副議長に紹介されて驚いたり、楽しく議場を探検しました。





■ 議員との名刺交換

2階ロビーで参加児童とオブザーバーも含めた全ての参加議員が名刺交換を行いました。参加児童が、全ての議員と名刺交換できるよう参加議員名簿を見ながら一生懸命議員に話しかける様子が印象的でした。事務局職員も加わり、初めての経験である名刺交換を多くの方と行うことができました。



■ 議員とのふれあいトーク

第1委員会室から第4委員会室の4つの委員会室に分かれ、参加者と議員との意見交換を行いました。

第1委員会室は、川村伸浩座長が委員長役を務め、そばっちチームとアマビエチームの一部の参加者と議員で意見交換を行いました。

第2委員会室は、佐藤ケイ子副座長が委員長役を務め、こくっちチームとアマビエチームの一部の参加者と議員で意見交換を行いました。

第3委員会室は、吉田敬子議員が委員長役を務め、とふっちチームとうにっちチームの一部の参加者と議員で意見交換を行いました。

第4委員会室は、千葉絢子議員が委員長役を務め、おもっちチームとうにっちチームの一部の参加者と議員で意見交換を行いました。

意見交換の主な内容は次のとおりです。

[参加児童からの質問]

- ・ 普段は話し合いの他に、どういう仕事をしているんですか。
- ・ 新型コロナの影響で、やることとか変わったんですか。
- ・ 県議会議員の皆さんの給料ってどれくらいなのですか。
- ・ いつ頃から議員になりたいと思ったんですか。
- ・ 県では約9千億円くらいの予算があるって聞いたんですけど、来年はどんなことにお金を使いたいと思っていますか。
- ・ 最初の説明の時に一人当たり73万円の予算ってというのがあったんですけど、どういう風に一人一人に使われているんですか。
- ・ 予算が余ったらどうなるんですか。
- ・ 臨時の時の会議って、どういうことを話し合うんですか [参加保護者からの質問]
- ・ どうして議員さんになられたんですか。

[参加議員からの質問]

- ・ この教室を申し込んだきっかけは何ですか。
- ・ 県議会を見て、どんなことを思いましたか。
- ・ 皆さんの中で、25歳以上になったら議員になってみたいと思った人はいますか。

ふれあいトーク終了後、参加児童には、教室に参加した感想文を作成してもらい、その後、各委員会室を代表して感想を発表する児童1名を決めました。実際の委員会の選挙で使用するくじで発表者を決定する委員会室もありました。





■ 閉校式

ふれあいトークの後に決定した各委員会室の代表者4名が感想発表を行い、中平均副議長が講評を行いました。

その後、関根敏伸議長から参加した児童一人一人に議員カード兼親子県議会教室修了証を交付しました。

最後に参加者、参加議員全員で記念撮影を行い、冬休み！親子県議会教室を終了しました。

